



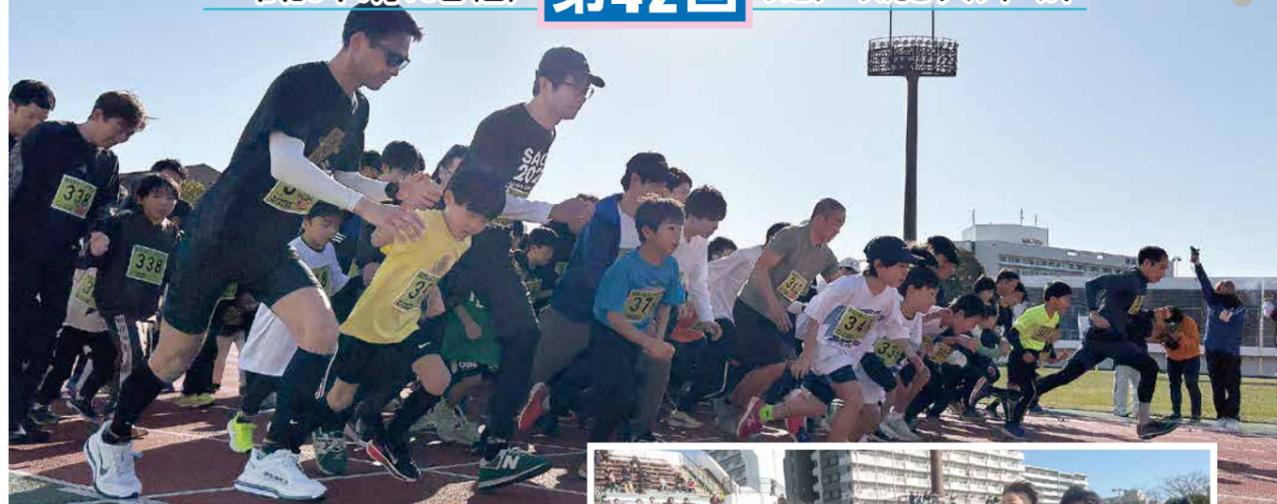
ふれあい

青少年育成葛西第二地区委員会だより

編集発行
青少年育成葛西
第二地区委員会
広報部
江戸川区中葛西3-10-1
電話(3688)0434

ふれあいニューイヤーマラソン大会

令和8年1月18日(日) 第42回 スピアーズえどりくフィールド



冬晴れの穏やかな日曜日となった1月18日、第42回ふれあいニューイヤーマラソン大会がスピアーズえどりくフィールドで行われました。えどりくを約2周してから場外に出て、新左近川沿いの歩道を走りえどりくに戻ってくるコースです。親子総勢779名に参加いただきました。地域で行われるマラソン大会ですが、毎年たくさんの方の参加者に大会を盛り上げていただいています。

小学1〜2年生は親子で手をつないでゴールを目指す2kmのマラソンです。親御さんは力強く手を引くお子さんの成長を感じたのではないのでしょうか。親子の絆が深まる競技に声援もひときり大きかった気がします。小学3〜4年生は2km、小学5〜6年、中学生は3kmのマラソンです。全員、最後まで諦めず一生懸命走る姿に感動しました。

最後になりますが、大会をサポートしていただいた清新JAC様、計測工房様、消防団、PTA、その他地域のみならず、ご協力ありがとうございました。

(次ページに入賞者一覧がご覧いただけます。)

青少年育成葛西第二地区委員会

令和7年度 あいさつ運動標語コンクール入賞作品

小学校低学年の部

- 金** つづけよう すてきなあいさつ いつまでも
■堀川 翔平 清新第一小学校
- 銀** おはようの こえではじまる すてきな日
■櫻井 綾人 第七葛西小学校
- 銅** おはようで 今日がキラキラ ひかりだす
■秋田 優羽 第四葛西小学校
- 銅** こんにちは すてきなえがおを くばります
■東 楓菜 南葛西小学校
- 銅** まほうかな あいさつしたら みなえがお
■松本 向葵里 南葛西第三小学校
- 銅** さむいあさ そのひとことで あたたまる
■奥山 陽佳香 新田小学校
- 銅** あいさつの リレーがつくる ぼくらのまち
■鈴木 悠仁 清新ふたば小学校
- 銅** あいさつで 今日もすっきり こんにちは
■藤森 詠多 臨海小学校
- 入選** だれにでも あいさつすれば いい気分
■平田 楓 南葛西小学校
- 入選** あいさつは ころろがぼかぼか いい気持ち
■碓井 心温 南葛西第二小学校
- 入選** あいさつは 笑顔の輪が咲く 魔法だよ
■松野 陽愛 東葛西小学校

小学校高学年の部

- 金** おはようで やる気がふえる また一つ
■藤田 恵舞 清新第一小学校
- 銀** 声ひとつ やさしさつなく 朝の道
■緒綱 未唯 東葛西小学校
- 銅** AIも 真似できないよ 明るいあいさつ
■水谷 美咲 第四葛西小学校
- 銅** 礼儀から 築く信頼 朝の声
■牧野 ひまり 南葛西小学校
- 入選** あいさつはみんなができるおもいやり
■佐原 凌 第二葛西小学校
- 入選** あいさつで 笑顔のバトン 君にパス
■平田 絹子 第七葛西小学校

- 入選** あいさつと 笑顔の先に 福来る
■田部井 奏歩 第七葛西小学校
- 入選** あいさつでつなぐつながるわたしたち
■松本 健慎 南葛西小学校
- 入選** 目も覚める 心も覚ます あいさつを
■前田 菜緒 南葛西第二小学校
- 入選** あいさつで あの子の心 晴れ模様
■新 愛生 南葛西第三小学校
- 入選** 世界中 笑顔になれる あいさつを
■小牧 孝成 新田小学校
- 入選** あいさつは 笑顔と勇気の うまれる場
■佐藤 陽 臨海小学校

中学生の部

- 金** こえかけて ころろをむすぶ あたたかさ
■浅井 樹木 南葛西第二中学校
- 銀** あいさつは 無言の壁を ほどく鍵
■河井 エレン 葛西第三中学校
- 銅** あいさつは 喜び連なる 地域の輪
■土屋 玲音 南葛西第二中学校
- 銅** 爽やかに 心を開く あいさつを
■小川 龍真 清新第一中学校
- 銅** こえひとつ しらないだれかが ちかくなる
■熊谷 陽向 清新第二中学校
- 入選** 勇気出し自分の方から声かけて
■銅島 綾介 南葛西中学校
- 入選** あいさつを かえてくれて ありがとう
■白倉 悠伸 東葛西中学校
- 入選** おはようで 今日の私が 動き出す
■金谷 咲希 東葛西中学校



令和7年10月19日(日) 葛西まつり
第50回葛西まつりでは、青少年育成葛西第二地区委員会が輪ゴム鉄砲、ケロケロジャンプ、フットボールの出し物を用意し、朝からテンションMAX。協力者と中学生ボランティアが全力で盛り上げ、500人以上の子どもたちが大はしゃぎ。その熱気で笑顔と歓声が止まらない一日となりました。

葛西まつり



小学生17名・保護者16名が参加する「Eポート体験と生物調査」を開催しました。真夏のような日差しの下、競技力ナンバーワン選手でもある講師のユニークな準備体操で一気に緊張がほぐれ、いざ海へ。水しぶきを浴びながら力を合わせてEポートをこぐ体験は楽しく、自信につながった「もしもの時に役立つ」と好評でした。干潟ではワタリガニやエビ、チチブなどの生物を採取し、網の使い方や投げ網も体験。足を取られた深い穴が実はアカエイの掘った跡と知るなど、驚きと発見に満ちた一日となりました。

第9回「Eポート体験と生物調査」

令和7年10月5日(日) 葛西海浜公園西なぎさ

この日の工作は、プラバンとくるくるレインボーです。お馴染みのプラバンはプラスチックの板に絵を描いて色付けし、オーブントースターで焼いて紐をつけて完成！
くるくるレインボーは、キラキラテープを二本ずつ貼って丸くし、竹串に通って完成です。竹串をくるくる回すとキラキラ光るシャボン玉のようでした。PTAのご協力もあり、100名の子どもたちと楽しく過ごすことができました。

おもしろ発見探偵団

令和7年10月11日(土) 南葛西第三小学校

第42回 ふれあいニューイヤーマラソン 各学年入賞者

小学校1年生女子と親の部		小学校1年生男子と親の部	
1 千賀 葵	臨海小学校	1 矢口 紬	東葛西小学校
2 坂田 史央	南葛西小学校	2 佐藤 圭之助	南葛西小学校
3 宇戸 陽香	臨海小学校	3 松本 颯	南葛西第二小学校
4 西川 瑠奈	清新ふたば小学校	4 吉田 紬	南葛西第二小学校
5 西野 千莉	第四葛西小学校	5 寺田 夏	東葛西小学校
6 畠中 葵衣	清新第一小学校	6 小松原 涼輔	清新第一小学校
小学校2年生女子と親の部		小学校2年生男子と親の部	
1 野村 紗葉	清新第一小学校	1 押元 颯士	東葛西小学校
2 埜 智惺	第七葛西小学校	2 東 祥太郎	南葛西第三小学校
3 玉根 和佳奈	臨海小学校	3 小島 新太	東葛西小学校
4 佐藤 優里英	清新ふたば小学校	4 油田 龍平	新田小学校
5 真鍋 葵衣	南葛西小学校	5 林田 怜大	南葛西小学校
6 太田 百花	第四葛西小学校	6 亀谷 長広	東葛西小学校
小学校3年生女子の部		小学校3年生男子の部	
1 堀 結衣	清新第一小学校	1 藤森 斗碧	第二葛西小学校
2 奥山 陽佳香	新田小学校	2 村山 陽紀	南葛西第二小学校
3 野村 凜	第二葛西小学校	3 岩曾 光晟	南葛西小学校
4 揚野 凜架	南葛西第二小学校	4 横尾 霞	第四葛西小学校
5 三好 莉央	第二葛西小学校	5 堺 逞真	清新第一小学校
6 中出 夏弥	第二葛西小学校	6 遠田 衣織	南葛西小学校
小学校4年生女子の部		小学校4年生男子の部	
1 杉山 茉莉子	第七葛西小学校	1 寺本 涼雅	清新第一小学校
2 安達 七彩	新田小学校	2 山下 夏都	南葛西第二小学校
3 阿部 友梨音	臨海小学校	3 青木 恒生	新田小学校
4 西野 菜月	第四葛西小学校	4 押田 界	清新ふたば小学校
5 関谷 樹莉	第四葛西小学校	5 続木 智大	臨海小学校
6 久保田 真織	臨海小学校	6 坂本 悠真	第二葛西小学校
小学校5年生女子の部		小学校5年生男子の部	
1 栗林 美凜	清新第一小学校	1 須山 昂	清新第一小学校
2 戸田 明香	南葛西第二小学校	2 原 海大	第二葛西小学校
3 豊永 あさひ	東葛西小学校	3 田中 一帆	新田小学校
4 村山 嘉穂	南葛西第二小学校	4 宮崎 巧斗	臨海小学校
5 篠原 初花	清新ふたば小学校	5 福田 恵士	第二葛西小学校
6 佐藤 真里英	清新ふたば小学校	6 麻生 聖一郎	臨海小学校
小学校6年生女子の部		小学校6年生男子の部	
1 占部 凜	清新第一小学校	1 湯原 惟人	東葛西小学校
2 根本 萌生	清新第一小学校	2 佐々木 海斗	東葛西小学校
3 江頭 柚希	南葛西第二小学校	3 野中 汐音	第四葛西小学校
4 横川 琳花	臨海小学校	4 玉澤 宏太	南葛西小学校
5 横川 怜花	臨海小学校	5 多海本 凌杜	清新ふたば小学校
		6 鎌田 湊	第四葛西小学校
中学生女子の部		中学生男子の部	
1 栗林 美帆	清新第一中学校	1 小口 大翔	東葛西中学校
2 佐藤 心望	清新第一中学校	2 太田 壘	東葛西中学校
		3 押元 楓	南葛西中学校
		4 藤田 秀平	南葛西中学校
		5 森 優斗	南葛西第二中学校
		6 池田 充	南葛西中学校



令和8年2月1日(日) 新田ミニシティ会館と周辺
わが街の歴史を楽しく学び伝統文化を体験する「葛西南たんけん隊」を開催しました。
午前は海苔漕ぎ体験。小学生24名が参加しました。講師は長島町海苔漕ぎ会長の佐久間昇さん。25cmに成長した生海苔を飛行機包丁で細かく刻み、水に放った海苔を漕ぎ箱ですくい、海苔枠の中にサツと流し込むと海苔が板状に残り、立派な「my海苔」が漕ぎました。驚くことに枠に固定して陽に干します。
次は屋内スタジオで大江戸玉すだれ教室。講師の佃川燕也さんは国立音楽堂やウィーン・オペラ座でも出演された元新川さくら館長です。子どもたちは軽妙な唄や踊りとともに手にした竹箆を「しだれ柳・釣り竿橋・富士山」など瞬時に変形させる技を教わり得意そうに保護者へ披露していました。
新左近川たんけんの案内人は元教師の遊佐照雄さん。新左近川親水公園の水辺約2kmコースを1時間半かけ、葛西地域が遠浅干潟だった昭和初期から発展した歴史を面白おかしく解説してくれました。

葛西南たんけん隊

ドッジボール大会

令和8年2月21日(土) 江戸川区スポーツセンター 大体育室

2月の三連休初日、恒例のドッジボール大会が開催されました。朝の寒さをもともしない元気な小学生103人が集まりました。
競技は低学年(1〜3年生)で8チーム、高学年(4〜6年生)で4チームとなり、低学年は4チームずつの2ブロックにわけ、3コートに分かれての総当たり戦です。終了時に「ドッジボール」を当てられて取れない(言われていない)子どもの数が多いチームが勝ちで、2セット先取制です。
チームごとに赤、白、黄色など、異なる色のはちまきを締め、いよいよ試合開始。試合時間は1セット4分。最初に外野になる選手(元外野)は3人、残りの選手は内野です。メートル四方の内野は広いように見えて、子どもが5人以上入ると、そうでもありません。

低学年チームでは、やはり1年生は逃げるのに精一杯の子もいますが、3年生が攻守をリードしてくれれます。高学年になると投げられるボールのスピードも試合展開も早くなります。3セットめまでもつれ込む試合もありました。
3コートで同時に試合ができる広い大体育室には、勝負に熱くなる子どもたちの歓声が響きまわりました。